

【学校教育目標】
郷土に根ざした
健全な児童の育成
【めざす学校像】
みんなの笑顔があふれる
周布小学校
【めざす子ども像】
学ぶ子 育つ子 進む子



浜田市立周布小学校
浜田市周布町1-63-3
電話 0855-27-1006
FAX 0855-27-4724

令和7年6月号 文責：大達高弘

【教室はまちがうところだ】

6月4日（水）、全校朝礼がありました。陸上大会の表彰の後「教室はまちがうところだ」という詩を子ども達に紹介しました。

私は、学校は挑戦する場だと思っています。いろいろなことに挑戦し、自分でやってみることで、知らなかったことを知ることができます。できなかったことができるようになります。たくさんさんの新しい発見や気づきができ、自分自身を成長させることができます。だから、子ども達にはどんどん挑戦してほしいと願っています。

ところが、「間違えたらいやだ」「失敗したらどうしよう」「どうせ自分には無理だし」、そんな気持ちが挑戦の邪魔をします。初めから何でもわかっている人、何でもできる人なんていません。まして未完成な子ども達です。失敗したり、間違えたりするのは当たり前のことなのです。誰だって失敗や間違いはしたくない。でも、大切なことは失敗や間違いをしないことではなく、「まずやってみる」ことです。仮にうまくいかなかったとしたら、どうすればいいのかを考え、また挑戦すればいいのです。

「教室はまちがうところだ」の一部を紹介し、どんどん挑戦してほしいと伝えました。子どもは無限の可能性を秘めています。236名の周布っ子が、いろいろなことに挑戦し、自分を鍛え、高め、成長していけるよう、応援し続けていきたいと考えます。

教室はまちがうところだ

「教室はまちがうところだ

みんなどしどし手をあげて
まちがった意見を言おうじゃないか
まちがった答えを言おうじゃないか
まちがうことをおそれちゃいけない
まちがったものをわらっちゃいけない
まちがった意見を
まちがった答えを
ああじゃないか こうじゃないかと
みんなで出しあい 言いあうなかでだ
ほんとのものを見つけていくのだ
そうしてみんなで伸びていくのだ」

「まちがいだらけのぼくらの教室

おそれちゃいけない わらっちゃいけない
安心して手をあげる
安心してまちがえや
まちがったって わらったり
ばかにしたり おこったり
そんなものはおりゃあせん
まちがったって だれかがよ
なおしてくれるし 教えてくれる
困ったときには先生が
ない知恵しぼって 教えるぞ
そんな教室作ろうやあ」

出典：教室はまちがうところだ

作者：蒔田晋治 出版社：子どもの未来社

浜田市小学校陸上競技大会

5月22日（木）、あいにくの小雨が降り続く肌寒い天候のもと、第20回浜田市小学校陸上競技大会が開催されました。この日の大会を目指して、5・6年生は約1ヶ月間、練習を重ねてきました。運動が得意な子も、そうでない子も、自分なりの目標をしっかりともち、やらされる練習ではなく、自分からやる練習に全力で取り組みました。大会ですから、当然、順位がつきます。練習したからといって、必ずしも満足のいく結果が得られるとは限りません。ただ、これだけは言えます。大会に向かって一生懸命に努力したこと、そしてこの日、自分の全力を尽くしたこと、これは子ども達の勲章であり、誇るべきものだ…。

大会では、歯を食いしばり全力で競技に向かう姿、テントから大声で仲間を応援する姿、うまくいかなくてもしっかりと前を向く姿など、周布っ子の輝く姿がたくさん見られました。また、大会では児童役員の仕事を担当した子どももいて、しっかりとその責任を果たしてくれました。

選手として児童役員として、一生懸命に頑張った周布っ子を誇りに思います。素晴らしい陸上競技大会でした。



★入賞おめでとう★ (入賞のみ)

○5年男子	100m	1位	宮本愛乃介	15" 49
		5位	竹田 亨仁	15" 92
○5年女子	100m	5位	福迫 碧	16" 84
○6年男子	100m	3位	高山 鈴琥	14" 66
○全学年男子	80mH	5位	荒川 遼輔	15" 79
○全学年女子	80mH	3位	齋藤 光来	17" 01
○5年男子	1000m	1位	浜岡 天晴	3' 31" 84
○5年女子	800m	1位	加藤 杏	3' 06" 25
○全学年男子	走高跳	1位	川本 創大	1m29
○全学年男子	走幅跳	2位	浜本 綾人	4m05
○全学年女子	走高跳	3位	宮崎 詩望	1m05
○全学年女子	走幅跳	3位	川野 美波	3m54
○全学年女子	ジャベリックボール			
		2位	埴田 璃虹	36m10
		6位	岩本季実子	31m60
○5年男子	4×100mリレー	1位	63" 61	
			横川大晟 竹田享仁 浜岡天晴 宮本愛乃介	
○6年男子	4×100mリレー	5位	62" 05	
			荒松 悠 浜本綾人 池田大吉 高山鈴琥	
○5年女子	4×100mリレー	4位	68" 35	
			福迫 碧 牛尾陽葵 加藤 杏 和田美空	

～大会後の感想～

- 悔しかったことはリレーが同タイム1位だったことと、100m走で3位になれなかったことです。嬉しかったことは、練習では17秒台だったのが、本番で15秒台を出せたことです。
- 毎日たくさん練習したけど、あまりいい記録が出せなかったから悔しいです。応援では声がかかるくらい頑張りました。
- 周布小全体では、いい記録が残せたと思います。挨拶もできていたし、応援もできていたのでいい陸上大会になったと思います。

コミュニティ・スクールがスタート！！

第1回学校運営協議会を開催しました

今年度から、浜田市内の小中学校においてコミュニティ・スクールの取組が始まりました。コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校のことです。【学校運営や学校の課題解決に対して、保護者や地域住民のみなさんが当事者として参画できる仕組み】です。

5月27日（火）、第1回学校運営協議会が開催されました。本協議会のメンバーは、下記の8名の皆様です。

【会長】	吉賀 聖江 様	(周布まちづくりセンター長)
【委員】	山根 志乃 様	(大麻まちづくりセンター主事)
	岩永 由美 様	(主任児童委員)
	中村みどり 様	(主任児童委員)
	村井栄美子 様	(民生児童委員)
	小川 豊 様	(人権擁護委員)
	船附 正敏 様	(元本校PTA会長)
	若井 大輔 様	(本校PTA会長)



協議会の内容としては、まず、校長より今年度の学校経営方針について説明し、その後、ワークショップ形式で【学校に期待すること(こんな学校・子どもになってほしい)】【そのためにできること】の2本柱で意見交換をしていただきました。それぞれのお立場から、たくさんの貴重なご意見をいただき、学校そして子どもたちに対する委員の皆様のご温かい想いを感じました。

【こんな学校・子どもになってほしい】

- ・あいさつができる子 ・勉強が好き、楽しいと言える子
- ・助け合える子 ・思いやりのある子 ・善悪の区別がつく子
- ・夢をもち、目標に向かって取り組もうとする子 ・時間を守る子
- ・子ども達が早く行きたいと思える学校 ・みんなの仲がいい学校
- ・子どもの声を大切にできる学校 ・スマイル・フルな学校
- ・大人も子どももお互いに笑顔であいさつができる学校・地域

【そのためにできること(夢や理想もOK)】

- ・あいさつ運動 ・地域と学校職員・保護者によるグループワーク
- ・関わりを増やし、お互いの顔を覚える
- ・学習公開日などの参加できる行事に参加し、子どもを褒める
- ・まずは大人からにこにこ笑顔を発信

今年度の周布小学校の合言葉は【スマイル・フル】。私は、スマイル・フルの実現には、人と人とのつながり、関わりが不可欠だと思っています。子ども同士、大人同士、そして子どもと大人。いろいろなつながり、関わりの中で、お互いが大切にされ、一人一人に安心できる居場所があれば、そこにはきっと笑顔が溢れるはず。そのつながり、関わりを創っていくために、このコミュニティ・スクールは大きな意味をもっていると思います。周布小学校にしかできない、周布だからこそこのコミュニティ・スクールを、みんなで創っていきたくて願っています。

修学旅行に行きました！（6年生）



6月12日（木）・13日（金）、1泊2日で修学旅行に出かけました。広島市の平和記念公園・平和記念資料館での平和学習、宮島での班別行動、コカ・コーラ広島工場見学、そしてみろくの里でのお楽しみと、盛り沢山の2日間でした。出発前には天気の心配をしていましたが、一度も雨に降られることなく、2日間の旅行を満喫することができました。

それぞれの見学場所で学ぶことは違いましたが、どの場所においても、出発前に私から出した宿題【るくるく】（見る・聞く・考える・動く）を意識した立派な姿で見学しました。学ぶ時は学ぶ、楽しむ時は思いきり楽しむと、めりはりをつけながら、自分達で修学旅行をつくりあげました。また、今回、途中参加となった友達を合流場所で温かく迎え、全員揃ってみろくの里を楽しむこともでき、素敵な思い出ができました。

広島市の平和記念公園や宮島では、外国からのたくさんの観光客に出会いました。周布っ子は、どこで出会っても、自分達から「ハイ」「ハロー」と笑顔で声をかけていました。なかには、挨拶だけではなく、片言の英語ではあっても、会話を楽しむ子どももいて、周布っ子の物怖じしない、バイタリティ溢れる姿には感心しました。こういう場面で、学習で身につけた外国語を使って交流することができる子どもって、ほんとにすごいなあと感じました。

修学旅行はただ楽しむだけではなく、旅行の事前学習・準備から事後のまとめ・振り返りまでを通して、何を学ぶか、どんな力を身につけるかが重要です。今回の旅行を通しての学びや成果を、今後の学校生活に生かし、36名の6年生が、周布小学校の最高学年としてますます活躍してくれることを信じています。

7月の主な行事

- 2日（水）校外学習（3年） クラブ
- 4日（金）校外学習（4年）
- 7日（月）ふれあい集会
- 8日（火）SC来校 西部合同学習（のびのび・すくすく・にこにこ）
- 9日（水）校外学習（4年）
- 11日（金）算数公開授業（5年）
- 14日（月）校外班会 委員会
- 16日（水）大掃除
- 18日（金）1学期終業式
- 22日（火）～24日（木）個人懇談



★あくまでも予定ですので、変更になることもあります。